

2010年度第1回ファイナンシャル・プランニング技能検定1級実技試験

Part (2010年6月6日)

氏名 _____

設 例

営業・マーケティング専門のコンサルティング会社であるX社は、創業50年を迎える業界では名の知れた優良企業である。X社の社長であるAさん(58歳)は創業者の息子であり、創業者以上にその才能と営業的センスが優れているとの評判である。

このX社は不況のなかでも安定した仕事の受注を確保しており、直近の経常利益は6千万円に達している。

Aさんには長男と長女がいて、長男は現在、他のコンサルティング会社で修行中であるが、近い将来に後継者としてX社に呼び戻す予定である。

また、長女は神社の神主と結婚しており、専業主婦となっていて特に生活に不安はない。

Aさんは長男をX社に呼び戻した後の事業承継を考えているが、長男は現在X社株式をまったく保有しておらず、またX社株式の買取資金も大きく不足しているため、どのようにすればよいのか悩んでいる。

Aさんは友人に相談したところ、株式の承継については生命保険や金庫株の活用をアドバイスされたが、具体的にどのようにすればよいのかわからないでいる。

また、Aさんは相続税に関して、仲間のコンサルタントから、非上場株式に係る相続税の納税猶予制度の利用を勧められたが、これについても使えるかどうか不安に思っている。

さらに、Aさんは個人的な資金運用として、先程の友人から個人年金保険の利用を勧められているが、商品性がよくわからないため躊躇している。

現時点でのAさんの相続財産は約12億円であり、うち自宅(小規模宅地等の評価減適用後)の金額は4千万円で、相続税の見積額は約3億9千万円である。

Aさんの家族構成

Aさん (58歳): X社社長

妻 (58歳): 専業主婦

長男 (32歳): 会社社員

長女 (30歳): 専業主婦

X社の概要

資本金 : 1千万円

発行済株式総数 : 20万株

株主構成 : Aさん100%

従業員数 : 21人

株式の相続税評価額 : 5,400円/株

検討のポイント

設例の顧客の相談内容および問題点として、どのようなことが考えられるか。

それらの相談内容および問題点を解決するために、どのような提案・方策が考えられるか。

それらの方策(解決策)のなかで、何を顧客に提案するか。その理由・留意点は何か。

F Pと職業倫理について、どのようなことが考えられるか。

(注) 設例に関し、詳細な計算を行う必要はない。